

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-89314
(P2001-89314A)

(43) 公開日 平成13年4月3日(2001.4.3)

(51) Int.Cl.⁷
A 6 1 K 7/00

識別記号

F I
A 6 1 K 7/00

データベース(参考)
B 4 C 0 8 3

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平11-301481

(22) 出願日 平成11年9月17日(1999.9.17)

(71) 出願人 599024713

ゴールドソン株式会社

東京都練馬区谷原1-9-5

(72) 発明者 持永 登茂

東京都練馬区谷原2丁目6-48番地

(74) 代理人 100092233

弁理士 中内 康雄

Fターム(参考) 4C083 AA122 AB191 AB192 AB371

AB372 AC122 AC172 CC01

CC04 CC05 EE01 EE10

(54) 【発明の名称】 化粧品類の保存方法

(57) 【要約】

【課題】 クリーム、ローション、シャンプー、クリーナーなどの化粧品が腐敗したり、かびが発生するのを防止するための化粧品類の保存方法に関し、従来から殺菌・防かび剤として用いられているパラベン、ソルビン酸などの使用を避けることを目的とする。

【解決手段】 金コロイド、特に数10オングストロームないし数100オングストロームの超微粒子として分散された金コロイドが、人体に影響を及ぼすことのない殺菌・防かび機能を有することを発見し、化粧品類に上記のような金コロイドを添加することによって化粧品類の殺菌・防かびを行うようにした。さらに、この金コロイドに加えて、トルマリンを焼結・破碎した微粉を混合・添加することによって、さらに殺菌・防かび能力を向上させることができる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】金コロイドを添加することを特徴とする化粧品類の保存方法。

【請求項2】金コロイドと焼結・粉碎したトルマリン微粉を添加することを特徴とする化粧品類の保存方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、クリーム、ローション、シャンプー、クリーナーなどの化粧品が腐敗したり、かびが発生するのを防止するための化粧品類の保存方法に関する。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】これら化粧品類には一般に有機物質が含まれているため、そのままでは細菌やかびなどが繁殖して、化粧品類が腐敗したり、変質したりすることがある。

【0003】このため、従来からこれら化粧品については、その腐敗・変質を防ぐための殺菌・防かび剤としてのパラベン、ソルビン酸などの「指定成分」を化粧品に添加するのが許容されてきた。

【0004】しかしながら、これらの殺菌・防かび剤については、近年、皮膚や粘膜に刺激を与えたり、発疹やアレルギーを惹起するなどの生体機能に悪影響を与えることが指摘されるに至ったばかりでなく、発ガンを誘発する虞があることが知られてきた。

【0005】本発明は、これら皮膚・粘膜・生体機能に影響を及ぼすことなく、発ガン性もない殺菌・防かび機能を有する化粧品類の保存方法を得ることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の発明者は、数10オングストロームないし数100オングストロームの超微粒子として分散された金コロイドが人体に影響を及ぼすことのない殺菌・防かび機能を有することを発見し、これに基づいて、化粧品類に金コロイドを添加することによって、パラベン、ソルビン酸などの「指定成分」を添加することなく、化粧品類を保存する方法を見出した。

【0007】なお、化粧品類に金箔を添加することは従来から行われてはいたが、この金箔は金コロイドとは異なって殺菌・防かびの作用を有するものではなく、したがって、殺菌・防かび作用を有するパラベン、ソルビン酸などの「指定成分」を金箔以外に添加していた。

【0008】また、この殺菌・防かびの作用が得られる理由は、上記のような数10オングストロームないし数100オングストロームの超微粒子として分散された金コロイドを添加することにより、化粧品類全体として弱アルカリ性となることによるものと考えられる。

【0009】さらに、この金コロイドに加えて、トルマリンを焼結・破砕した微粉を混合・添加すると乳化現象

が発生して、金コロイドおよびトルマリンと化粧品類との混合が均一に行われるばかりでなく、さらにアルカリ性を高めて殺菌・防かび能力を向上させるというさらなる効果が得られる。

【0010】

【発明の実施の形態】本発明で用いる数10オングストロームないし数100オングストロームの超微粒子として分散された金コロイドを得る方法としては、金を電極としてアーク放電を行って生じた金の蒸気を水中で凝縮する分散法、あるいは、金イオンを含む水溶液を例えば還元剤を用いて還元して金を水中に析出させる凝集法など、公知の方法を適用することができる。

【0011】そして、重量比で化粧品類の0.001～0.1%程度を添加・混合することにより、長期間かびが発生せず、化粧品としての品質も変化しないことが確認できた。

【0012】一方、トルマリンは、「電気石」とも呼ばれる複雑な組成の珪酸塩鉱物であって、具体的には、苦土電気石、鉄電気石、リチア電気石、灰電気石などが知られているが、本発明のトルマリンとしてはこれら電気石の適宜のものを焼結・粉碎したトルマリンの微粉を用いることができる。

【0013】そして、重量比で0.001～0.1%程度添加・混合することにより、長期間かびが発生せず、化粧品としての品質も変化しないことが確認できた。

【0014】

【実施例】実施例 1. 通常の製法によってローションを作成し、これに数10オングストロームないし数100オングストロームの超微粒子として分散された金コロイドを重量比で0.001～0.1%程度添加することにより、パラベン、ソルビン酸などの指定成分を添加していないにもかかわらず、上記したような長い期間にわたってかびが発生せず、また、変質も生じないことを確認した。

【0015】実施例 2. 通常の製法によってローションを作成し、これに数10オングストロームないし数100オングストロームの超微粒子として分散された金コロイドを重量比で0.001～0.1%程度添加し、さらに、トルマリンを焼結・粉碎したトルマリン微粉を添加することにより、パラベン、ソルビン酸などの指定成分を添加していないにもかかわらず、上記したような長い期間にわたってかびが発生せず、また、変質も生じないことを確認した。

【0016】実施例 3. 精製水に主要成分としてフェノキシエタノール、ブチレングリコールおよびヤシ油脂脂肪酸カリウムとを含む化粧液（クリーナー）に、重量比でほぼ0.02%の数10オングストロームないし数100オングストロームの超微粒子として分散された金コロイドと、重量比でほぼ1%の焼結・粉碎した微粉トルマリンを添加した。

【0017】これにより得られた化粧液のpHは9.4の弱アルカリ性を示し、パラベン、ソルビン酸などの指定成分を添加していないにもかかわらず、長期間保存しておいても変質せず、また、かびも発生しないことが確認できた。

【0018】

【発明の効果】本発明によれば、数10オングストロームないし数100オングストロームの超微粒子として分

散された金コロイド、あるいは、さらに焼結・粉碎したトルマリン微粉という天然の材料のみによって防腐・防かびを達成することができるので、皮膚・粘膜・生体機能などに対して悪影響を及ぼすことがなく、これによって、発疹やアレルギーの発生を避けることができるばかりでなく、発ガンを誘発する虞が少ないなどの効果を有する化粧品類の保存方法を提供することができる。